

# 【コロナ特別対応型・補助金事務局提出用】

記載例と諸注意

(様式第8)

令和 ●年 ●●月 ●●日

独立行政法人中小企業基盤整備機構  
理事長 殿

提出日をご記入ください。提出締切日は事業終了日から起算して30日を経過した日、または補助事業実績報告書提出期限のいずれか早いほうです。

住所 ●●県●●市●●町●●—●—●

名称 株式会社●●●●

代表者の役職・氏名 代表取締役 持続 一郎

※共同申請の場合は連名（住所・名称・役職・氏名・印）



## 小規模事業者持続化補助金に係る補助事業実績報告書

小規模事業者持続化補助金<コロナ特別対応型>交付規程第18条第1項の規定に基づき、下記のとおり報告します。

### 記

#### 1. 補助事業名（補助金交付決定通知書の日付を記載のこと。）

小規模事業者持続化補助金事業

（令和●年●●月●●日交付決定（第●回受付締切分））

本会から郵送した「交付決定通知書」に記載の日付、回数をご確認ください。

#### 2. 事業期間

開始 令和●年●●月●●日

終了 令和●年●●月●●日

<コロナ特別対応型枠のみを実施>

補助対象事業の開始日（1. 交付決定日当日）もしくは遡及日を記入してください。経費の支出に関する発注以降の行為は、**補助事業の開始日以降**となります。

<事業再開枠も実施>

遡及日（令和2年5月14日）以降、初めて経費を支出した日を記入してください。店頭購入以外の場合は発注日となります。

事業が完了した日を記入してください。  
全ての補助対象経費の支払は**事業終了日以前**となります。

#### 3. 実施した補助事業の概要

##### (1) 事業者名

株式会社●●●●

##### (2) 事業名

●●における販路開拓

##### (3) 事業の具体的な取組内容

（以下は記入例です。自社で実施した補助事業の取組内容を記入してください。）

申請書類（様式2）の<計画の内容>「4. 今回の申請計画で取り組む事業名」を記入してください。

申請書類（様式2）の<計画の内容>「5. 今回の申請計画で取り組む内容」を参考に取組んだ内容を記入してください（変更申請等を行った場合は、変更内容を加味して記入してください）。

※販路開拓等の取組内容については、**実際に行った内容を具体的に必ず記載して下さい（本事業は販路開拓が主となるため、その取組内容が記載されない場合は承認されません）**。また、コロナ型ではA・B・C要件、コロナ関連投資額が1/6以上でないと承認されません。共同事業者の場合は、すべての事業者の取組内容を個社ごとに記入してください。

##### <本体事業>

販路拡大のため次のとおり

①～③を実施した。

① チラシ作成及び配布

印刷会社に依頼をして新たなサービスに関するチラシを●●枚作成し、店頭で配布することで幅広い年齢層の集客を図った（配布期間：●月●日から●月●日まで）。

② ホームページ作成

現状のHPでは販売・決済機能がなかったため、コロナ禍において非対面ビジネスの取り組みとしてカート機能、決済機能を実装し、受注増を図った。あわせて Wonder express を活用し、閲覧数増についても注力した。（受注期間：●月●日から●月●日まで）。

【作成 URL】 <https://xxxxxxxxxxxxx.jp>

完成したホームページの URL を必ず記載してください。

③ 内装工事

弊社は車椅子を利用される方や足の不自由な高齢者も多く来店するため、店舗のバリアフリー化（手すりの設置、段差の解消・スロープの設置）を行い、高齢者の集客の向上を図った（工事期間：●月●日から●月●日まで）

空気清浄機、エアコン、換気扇等は、設置場所を記載してください。

内装工事については、単純な「店舗改装をした」という内容で終わるのではなく、必ず販路拡大につながる取組内容を記入してください。また、委託・外注した場合は、工事前・工事後の写真を証憑書類として添付してください。

<事業再開枠>

感染拡大防止の取組として次のとおり④～⑥を実施した。

④ 換気扇の導入

店舗内の換気を円滑にできるよう、事務所内に新たに換気扇の購入・設置を行った（工事期間：●月●日から●月●日まで）。

⑤ ビニールシートの導入

客席と客席間の飛沫を防止するため、透明ビニールシート（5枚）を購入・設置した。

⑥ ポスターの作成

感染防止に関するポスターを2枚作成（店舗入り口、トイレに貼付）し、本取組の周知を図った。

本事業が行われることによって、どのような成果が得られたのか記入してください。数字や顧客からの感想等、具体的な反応も記入してください。

(4) 事業成果（概要）

<本体事業>

補助対象外事業についても計画にある限りは実行し、成果を記入し、その証憑書類を提出してください。

① チラシ作成及び配布による成果

本事業で実施したチラシ作成により、特に●●で配布したチラシを手にした中・高齢層の女性からの問い合わせが多くなり、これが売上増につながった主な要因である。

② ホームページ作成による成果

本事業でホームページにカート機能・決済機能を追加し、分かりやすく刷新したことで、今後の問合せや受注増が期待できる。具体的には、HP を閲覧した顧客から「●●」「●●」という問い合わせがあり、30 件の問い合わせの内、10 件、10 万円の注文につながった。閲覧者数増加の取り組みとして自社でも編集がしやすいコンテンツ管理システム Wonder express（月額制 サブスクリプション型）を導入。システム導入後●月～●月までの閲覧者数は月次平均 28% 増となった。引き続き、アクセス数を維持するため今後はこまめに情報を発信していきたい。

③ 内装工事による成果

バリアフリー化をしたことでお客様に喜んでもらえている。当初のターゲットであった高齢者はもちろん、子供連れの若い女性にも好評で来店者が伸びた。

バリアフリー化 前：●名（高齢者●%、子連れ●%）

バリアフリー化 後：●名（高齢者●%、子連れ●%）

申請時には補助事業完了予定日を 2021 年 1 月 31 日としていたが、外注先の都合により工事日が前倒しとなったため、予定より早く終了した。工事内容は当初計画どおりであり、完成が早まったことで集客対策もしやすくなり、早まった 1 か月の間に法事の会食の予約を受けた。

< 事業再開枠 >

補助事業終了日が、申請時に記載した「補助事業完了予定日」（公募要領様式 4 の 2.）より 1 か月以上早く終了した場合には、実績報告書中に早く終了した理由と、短い期間でも当初の実施計画で記載した目標に対する成果が上がっている旨を記載してください。

④ 換気扇の導入

換気扇の導入によって、真夏の暑い日も効率的に換気することができ、店内の感染防止対策につながった。

⑤ ビニールシートの導入

客席と客席の間にビニールシートを設置し、飛沫感染防止対策を実施した。

⑥ ポスターの作成

感染防止のみを啓発するポスターを店舗入り口、トイレに貼付し、感染防止の取り組みを周知した。事業再開枠に取り組むことで、当店から新型コロナウイルス感染者を出すことがなく、感染拡大防止に努めることができ、また当店スタッフも安心して接客することができた。

(5) 事業経費の状況

- ・ 支出内訳書（別紙 5 又は別紙 6）

・ 計画の策定段階に期待していた効果  
・ 補助事業実施後の実績、効果  
・ 計画と実績の差異分析  
・ 分析結果を踏まえた経営計画・事業計画見直し等を記載してください。

(6) 本補助事業がもたらす効果等

チラシ配布による商品 PR 効果は、当初予想を上回る反響があった。このまま順調に目標数値に近づくと、現在の従業員数では、対応しきれないため、今後、従業員の増員も検討している。

HP を刷新（カート機能、決済機能）したことで顧客から評価を得ている。定期的に新商品やイベント情報をアップして、これらの良い評価を持続させて行きたい。本事業をきっかけに、今まで取引がなかった町内企業からも問い合わせがあり、新規の取引につながることを期待できる。また今後、高齢者の方が当店のファンになってくることで、安定した売上が期待できる。更新システム Wonder express については明確に閲覧者数が増えているため、事業完了後も自費で活用していきたい。

また、換気扇やビニールシートの導入等、感染防止に積極的に取り組むことで、お客様にも従業員にも「安心」「安全」というイメージを持ってもらい、緊急事態宣言時に落ち込んだ来店者数も徐々に取り戻している。継続して実施していきたい。

(7) 本補助事業の推進にあたっての改善点、意見等

ご自身が実際に補助事業に取り組まれたことを通じてお感じになった、持続化補助金制度等に関するご意見があれば、ご記入ください。

(別紙5) 【様式第8：実績報告書に添付】

※特例事業者以外用

支出内訳書

事業者名： 株式会社●●●●

該当する類型に○をつけてください。(申請時と同じ類型)

交付決定を受けた投資類型 ※該当する類型に○をつけてください	A ○ ・ B ○ ・ C
特例事業者ではない	はい ○ ・ いいえ

(単位：円)

経費区分	補助対象経費	うち新型コロナウイルス関連投資額	
1. 機械装置等費	60,000		60,000
2. 広報費	420,000		420,000
3. 展示会等出展費	0		0
4. 旅費	0		0
5. 開発費	0		0
6. 資料購入費	0		0
7. 雑役務費+	0		0
8. 借料	0		0
9. 専門家謝金	0		0
10. 専門家旅費	0		0
11. 設備処分費 (①)	0		0
12. 委託費	0		0
13. 外注費	480,000		480,000
補助対象経費合計 (上記1.~13.の合計)	② 960,000	③	960,000
① ≤ ② × 1/2 かつ ① が申請・交付決定時の計上額の範囲内 → はい ○ ・ いいえ ※「いいえ」の場合は実績報告ができません。	<p>該当欄にいずれかの金額をご記入ください。</p>		
③ ÷ ② ≥ 16.7% (1/6) → はい ○ ・ いいえ ※「いいえ」の場合は実績報告ができません。			
(1) 補助対象経費合計 (②) の3分の2又は4分の3の金額 (円未満は切り捨て)	類型Aのみ (② × 2/3)		
	上記以外 (② × 3/4)		720,000
(2) 交付決定通知書記載の補助金の額(コロナ特別対応型) (計画変更で補助金の額を変更した場合は変更後の額)			720,000

(3) 補助金額 (コロナ特別対応型) ((1) 又は (2) のいずれか低い額)	720,000
14. 消毒費用	0
15. マスク費用	0
16. 清掃費用	0
17. 飛沫対策費用	64,000
18. 換気費用	380,000
19. その他衛生管理費用	0
20. P R 費用	86,000
(4) 補助対象経費合計 (上記 14.~20.の合計)	530,000
(5) 交付決定通知書記載の補助金の額 (事業再開枠) (計画変更で補助金の額を変更した場合は変更後の額)	500,000
(6) 補助金額 (事業再開枠) ((4) 又は (5) のいずれか低い額)	500,000
(7) 概算払請求額	610,000
(8) 収益納付額 (控除される額)	0
交付を受ける補助金額 (精算額) (3) + (6) - (7) - (8)	610,000
チェック①: (3) + (6) が 1,500,000 円以下	はい ・ いいえ ※「はい」となる必要があります。
チェック②: (3) ≥ (6)	はい ・ いいえ ※「はい」となる必要があります。

収益納付がある場合は該当金額を入力ください。  
様式 8 別紙 7 の提出も必要となります。

※概算払を受けている場合、収益納付がある場合には、補助金の確定額から納付分が減額されて精算されます。  
(別紙 7 の納付額(F)に記載がある場合は、「(8)収益納付額(控除される額)」の欄に、別紙 7 の納付額(F)を記入)  
※共同申請の場合は、補助事業者ごとに作成すること。

# 経費支出管理表

1. 事業者名 : 株式会社●●●●

2. 番号 : 1234567890

\* 交付決定通知の右上に記した10ケタの番号を記入してください

3. 交付決定日 : 2020/●/●

\* 交付決定通知書右上に記した日付を記入してください

4. 事業者区分 : 課税事業者

\* 「課税事業者」・「免税事業者」・「簡易課税事業者」のいずれかに該当するか選択します。

本例は、課税事業者の場合を記載しています。課税事業者は「実際の支出金額のうち補助対象経費として計上できる額」を消費税抜きの金額で計上してください。なお、免税事業者および簡易課税事業者は、消費税込の金額を計上することも可能です。

\* 本支出管理表は、実績報告書や経費支出に係る証ひょう書類送付する際に、あわせてご提出をお願いします。

また、送付する際には必ず証ひょう番号ごとに整理してください。

(証ひょう番号ごとに整理ができていない場合には、いったん全て返送し、再度整理をご依頼することがあります。)

\* 「交付決定日」以後に「申込or発注or契約」を行い、「補助事業実施期限」までに支払(原則銀行振込、あるいは現金支払に限る)を終えた経費が、補助(ただし、展示会への出展については交付決定前の申込みでも、請求書の受領が交付決定後であれば、補助対象となります。)

\* 本エクセルファイルには関数が組み込まれています。行数を増やす場合には、経費支出管理表と支出内訳書の金額が対応しているか、ご確認ください。

「実際の支出金額」から、どのように「補助対象経費として計上できる額」を算出したのか、わかるようにご記入ください。

証ひょう番号	費目	実際の支出金額 (消費税込額)	実際の支出金額のうち 補助対象経費として 計上できる額	うち新型コロナウイルス 関連投資として計上 できる額	発注・申込・契約日	支払日	支払先	支出内容
1	1. 機械装置等費	66,000	60,000	60,000	令和2年5月3日	令和2年5月～9月末	(株)ワンダープレス	webコンテンツ管理システム Wonder press を月額で契約。2020年5,6,7,8,9月分
2	2. 広報費	132,000	120,000	120,000	令和2年8月15日	令和2年8月31日	プリントショップ A町店	商品PR、テイクアウトに関するチラシ2,500部発注し補助事業期間中に全て配布。(店頭配布)
3	2. 広報費	330,000	300,000	300,000	令和2年8月1日	令和2年9月15日	(株)webサイト製作所	商品ページ制作、販売カート追加、web決済機能の追加 9月10日より実装(販売開始)
4	13. 外注費	528,000	480,000	480,000	令和2年7月1日	令和2年9月30日	C工業株式会社	高齢者の集客率の向上の為、店舗のバリアフリー化工事を外注。
5								市販品の店頭購入であれば、その場で購入の意思表示を行い、代金を支払う(10万円以下のため、現金払い可)ので、本例のように「発注日」と「支払日」は同じ日になります。
6	17. 飛沫対策費用	70,400	64,000		令和2年8月27日	令和2年8月27日	ビニールショップビニ A通り店	飛沫感染防止対策のため 客席と客席の間にビニールシート設置。4テーブル分、計5シート
7	18. 換気費用	418,000	380,000		令和2年8月7日	令和2年8月21日	(株)空調プランニング I機	感染防止対策のため 店舗内を効率よく換気するため 空調工事を行い換気扇を設置。
8	20. PR費用	94,600	86,000		令和2年8月15日	令和2年9月5日	(株)デザインAカンパニー	店舗入り口、トイレに貼付 感染防止のみを啓発するポスター 計2枚 印刷・設置
9								・事業再開の費用は、新型コロナウイルス関連投資額になりません。
10								・全国連ホームページ掲載の参考様式(例)より、15_経費支出管理表_計算式有をご利用いただく場合は、上記のように事業再開の費用を選択すると、該当欄が自動的にグレーダウンする仕様となっています。(誤入力がおこらないようにするため)
11								あわせて、費用計算の数式もはいつているため、全国事務局としては15_経費支出管理表_計算式有をご利用いただくことをお奨めしております。
12								
合計額		1,639,000	1,490,000	960,000				

コロナ特別対応型は2月18日以降、事業再開は5月14日以降の補助対象経費について申請することが可能です。  
※交付申請書で遡及適用日を記入していないと遡及することができません。

補助事業の実施期限までに支払いが終わらない経費支出は補助対象外です。支払方法等の詳細については、「補助事業の手引き」をご覧ください。

クレジットカード払い等で、口座から引き落とされた日が、実施期限を過ぎている支払いについては、補助対象外となりますので、ご注意ください。